

サイバー犯罪の事例調査

－調査・整理し，発表しよう－

1 ねらい

身近にある情報技術の進展が生活を充実させ便利にしてきたが，それに伴い，種々の問題が生じてきた。そのうち，サイバー犯罪について，どのように捉えどう対処すべきか，という心構えを身に付ける。さらに，情報モラルの育成を図り，積極的に情報社会に参加しようとする心構えも身に付ける。

2 内容及び教材

(1) 指導内容

- 情報 I 情報社会の問題解決（情報技術の役割と影響）
- 情報 I 情報社会の問題解決（望ましい情報社会の構築）
- 情報 I 情報社会の問題解決（問題の発見・解決）

(2) 使用教材（配付資料等）

ア [授業プリント](#)

イ 愛知県警サイバー犯罪対策のサイト

<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/>

3 指導の流れ

(1) 基本的な指導の流れ

時 限	学習内容・学習活動	指導上の留意点
1	○サイバー犯罪の状況について ・愛知県警サイバー犯罪対策のサイトを 紹介しながら，近年の状況について 説明する。	・グループワークの際に利用できるサ イトを紹介する。
	○各グループで，サイバー犯罪の事例 の情報収集を行う。 ・ウェブページ，新聞，書籍等から情 報を収集する。 ・収集した情報を整理する。 ・発表する資料を作成する。	・収集した情報の信頼性，信ぴょう性 を意識させる。 ・著作権の利用の観点から，引用先を 明らかにするように指示する。
2	○ 発表する方法の検討。 ・ウェブページ ・プレゼンテーションソフトウェア	・発表方法は各グループで検討し，選 択するように促す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター ・レジュメ <p>○発表用資料の完成。</p>	
3	<p>○調査結果の発表。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者以外の生徒は，ワークシートの相互評価を記入しながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の態度についても指導し，有意義な発表時間となるように指導する。

(2) 発展課題

サイバー犯罪に関する調査と報告で終わることなく，調査した現状を踏まえて情報社会に生きるものとして，サイバー犯罪どのように捉えどう対処すべきか，という心構えについて考えることができる。

4 評価の例

評価の例として，次のようなものが考えられる。

時 限	学習内容・学習活動	評価規準	評価方法・評価の観点
1	○愛知県警サイバー犯罪対策のサイトを見ながら，近年のサイバー犯罪の状況について理解する。	サイバー犯罪の現状について，身近な問題として捉え，理解している。	プリント [知識・技能]
2	○各グループで，サイバー犯罪の事例の情報収集を行う。	調べたい事柄によってメディアを選択し，情報を収集している。	プリント [知識・技能]
3	○調査結果の発表 ・発表用資料の作成及び発表準備をする。	サイバー犯罪に巻き込まれないよう気を付けること，これからの情報化社会に参加する心構えについてまとめたものを，記述している。	プリント [思考・判断・表現]